

e501

イーバンク・ファンド・シリーズ

イーバンク・ヘッジファンドe501

クラスA 受益証券 ケイマン籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(円建て)

- 実質的元本の成長を目指す
- 主として満期時120%元本確保型債券へ投資

■管理会社は
イーバンク・キャピタル・マネジメント(ケイマン)リミテッド
eBANK Capital Management (Cayman) Ltd.

■お申し込みは



登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号

イーバンク銀行 eBANK Corporation

●コンテンツ (下記よりご覧になりたい項目を、お手元のマウスにて「クリック」をしてください。)

3 ●ファンドの特徴

4 ●ファンドのリスクについて

5 ●ファンドに係る手数料等について

5 ご購入時／ご換金時に直接ご負担いただく費用

6 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

7 ●お申込みに際して

8 ●ファンドの留意点

9 ●ファンドの仕組み

10 ●ファンドの運用実績

11 ●ヘッジファンド連動債

11 1. 運用実績(参考)

12 2. 償還イメージ

13 3. 運用会社・保証銀行

14 4. 主なヘッジファンド運用スタイル

14 ■ 主なヘッジファンド運用スタイル(マネージド・フューチャーズ ①)

15 ■ 主なヘッジファンド運用スタイル(マネージド・フューチャーズ ②)

16 ■ 主なヘッジファンド運用スタイル(その他 1/2)

17 ■ 主なヘッジファンド運用スタイル(その他 2/2)

18 ヘッジファンドについて

19 ●ご購入について

20 ●ご換金について 1/2

21 ●ご換金について 2/2

22 ●販売会社、管理会社、その他関係法人の概要

23 ●お申込メモ

24 ●投資信託に関する留意点

25 ●本資料に関してご留意頂きたい事項



●ファンドの特徴

特徴1：中期的にみて、ボラティリティのレベルを抑え、株式または債券の市場価格の動向の影響を受けにくい運用で、実質的元本の成長を目指します。

当ファンドは、市場の動向の影響を受けにくい積極的運用で収益を追求することを目標とする、各種ヘッジファンド運用スタイルに投資します。

特徴2：マン・インベストメンツ社の運用するファンド・オブ・ヘッジファンドの成果に連動します。

当ファンドは、世界最大級の独立系ヘッジファンド・グループである、マン・インベストメンツ社により運用される各種ヘッジファンド戦略のパフォーマンスに連動した米ドル建て債券に投資します。

特徴3：米ドル建て元本120%償還保証付の債券を主として組み入れます。

当ファンドでは、シティバンクN.A.により、満期時の元本償還額が120%保証されている米ドル建て債券を主として組み入れます。また、当債券は満期時元本保証額遡増機能(プロフィット・ロックイン)を備えており、継続的に収益が発生した場合には、保証元本額自体が段階的に増額されます。

(注1) シティバンクN.A.は、2010年2月末現在、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社によりA+格に、ムーディーズ社によりA2格に格付されています。

(注2) 上記債券の元本保証は、満期時の償還元本を確保するものであるため、満期日以前に早期償還された場合については、この保証を享受することはできません。

(注3) 当米ドル建て債券の元本は120%保証されておりますが、当ファンドの元本が保証されているわけではありません。



●ファンドのリスクについて

- ◆当ファンドは、主に債券等の有価証券を投資対象としますので、組み入れ有価証券の価格の下落や、組み入れ有価証券の発行会社または保証会社の倒産や財務状況の悪化、金利などの影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ◆組み入れ債券のパフォーマンスは、ファンド・オブ・ヘッジファンズの投資実績に連動するため、かかるファンド・オブ・ヘッジファンズが組み入れる株式、債券および受益証券の値動き等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ◆また、当ファンドの純資産価格は円建てで算出されますが、組み入れ債券等は外貨建てですので、為替の変動により損失を被ることがあります。
- ◆さらに、途中換金の際には換金コストが控除されるため、換金時の基準価額を下回ることがあります。
- ◆したがって、ご投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。
- ◆当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」「金利変動リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をよくお読みください。



●ファンドに係る手数料等について 1/2

[お客さまには以下の費用をご負担いただきます]

◎ご購入時に直接ご負担いただく費用

◆申込手数料:お申込金額の2.1%(税込)を上限に、販売会社が定める率を乗じて得た金額。

◎ご換金時に直接ご負担いただく費用

◆買取手数料:買取手数料の上限は以下のとおりです。

買取日	買取手数料
2009年4月1日以降2011年3月31日まで	純資産価格の1.5%
2011年4月1日以降～	純資産価格の0.5%

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。



●ファンドに係る手数料等について 2/2

[お客さまには以下の費用をご負担いただきます]

◎投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

◆管理報酬等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理報酬:純資産総額に対し年率0.2% ・受託会社報酬:純資産総額に対し年率0.12%(ただし、月額最低3,500米ドル)および年額5,000米ドル ・管理事務代行会社報酬:年額5,000米ドル ・投資運用報酬:総資産総額に対し年率0.1% ・代行協会員報酬:純資産総額に対し年率0.05% ・販売会社報酬:純資産総額に対し年率0.45%
◆その他費用	<p>●投資先の債券の報酬および費用 ※上限額については運用状況等により変動する為表記できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用報酬:年率約3% ・月額成功報酬:各投資戦略による価値の純増加額の20%以下 ・その他、リスク移転管理費用:年率約1% ・流動性・財務管理費用:年率約0.357% ・保証報酬・保証手数料:発行時0.2%、以降年間0.2% <p>●投資先ファンドの管理報酬等 ※債券のパフォーマンスが連動するファンド・オブ・ヘッジファンズが投資するファンドでも、管理報酬、信託報酬等の手数料等が発生します。</p> <p>●その他の費用(実費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立費および募集費用 ・運営費用

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。



●お申込みに際して

その1：発行・償還はともに円建てです。

当ファンドは、主に外貨建て各種ヘッジファンド戦略のパフォーマンス連動債券へ投資することにより運用されますが、発行・償還はともに円建てです。

なお、為替ヘッジを行わず米ドル建て債券を直接組み入れるため、為替リスクがあります。

その2：10万円からご投資いただけます。

従来は一部の大口投資家や機関投資家向けの限定商品であったヘッジファンドに、当ファンドは10万円から投資できます。

その3：毎週ご換金が可能です。

当ファンドの満期は2018年ですが、途中でのご換金も可能です。

ご換金には換金費用がかかります。詳しくは、後述の「ご換金について」のページをご参照ください。

その4：お申込みにには申込手数料が必要です。

お申込みにには2.1%(税込)を超えない額の申込手数料がかかります。



●ファンドの留意点

- 投資元本は円建てですが、投資対象は外貨建資産なので為替リスクがあります。
- 信託期間は2005年12月7日から2018年5月15日までです。
- 中長期の安定運用を目指すため、原則として信託期間中の収益配当は行いません。
(ただし、毎週買取請求によるご換金が可能です。)
- 基準価額は、投資期間中、次に掲げる事由等の影響によって上下しますので、お客様の投資元本を下回ることがあります(主として組み入れる債券は、満期日においてのみ、投資元本の120%以上での償還が元本保証銀行であるシティバンクN.A.によって保証されています)。
 - 当ファンドに組み入れられている有価証券の値動き
 - 組入債券の元本保証銀行を務めるシティバンクN.A.の信用リスク・経営破綻
- 途中換金の場合には、換金金額が投資元本を下回る可能性があります。また換金価格は、基準価額から後述の流動性対応費用が差し引かれますので、換金時の基準価額を下回ります。
- 組入債券の元本確保は、債券の償還日(2018年3月31日)まで継続投資した場合にのみ適用されます。償還日前に売却された場合の債券価格は、当初元本を下回ることがあります。

- 1 受益証券の価格は、ファンドに組み入れられる有価証券等の値動きや発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化のほか、為替相場の変動等による影響を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
したがって、ファンドは元本が保証されているものではありません。
- 2 ファンドは預金ではなく、預金保険の適用対象ではありません。また、ファンドは投資者保護基金の支払い対象ではありません。
その他、ファンドおよびファンドに組み入れられる証券などのリスクの詳細等については、投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。



●ファンドの仕組み

マン・インベストメンツ社が運用するヘッジファンド戦略の成果に連動するファンド・オブ・ヘッジファンズ連動債券(マンAPエンハンスド・シリーズ2・リミテッド債)に主として投資します。



※1 当ドル建て債券の元本は120%保証されておりますが、当ファンドの元本が保証されているわけではありません。



●ファンドの運用実績

基準価額の推移



■ご注意ください

上記のグラフ・データは本資料作成時点における最新データを使用していますが、将来の運用成果を示唆或いは保証するものではありません。

総合収益率	-34.95%
年率収益率	-9.71%
年率標準偏差	16.55%
シャープレシオ	-0.603

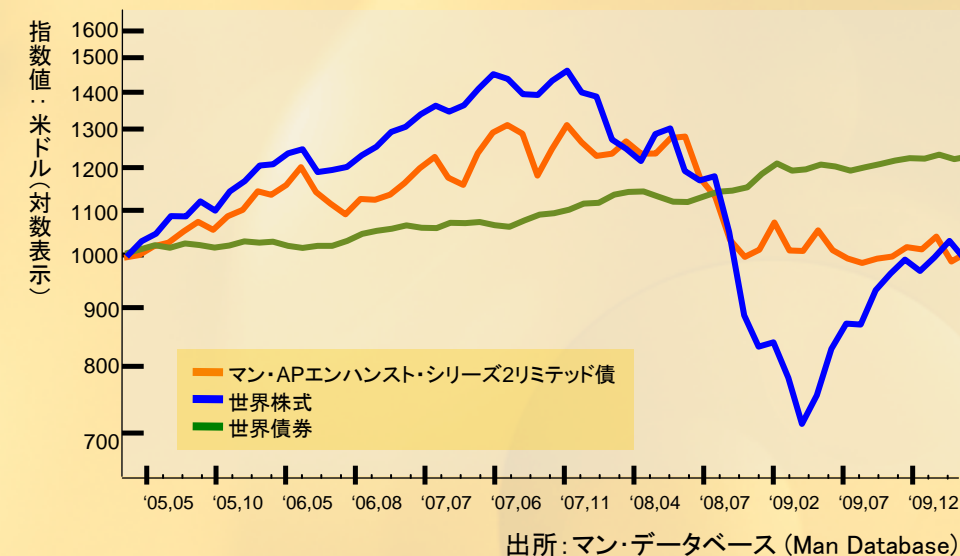
シャープ・レシオは当該期間における該当通貨のリスクフリー・レートの平均値に基づき算出しております。



●ヘッジファンド連動債 1/8

1. 運用実績(参考) マン・APエンハンスド・シリーズ2リミテッド債の過去の実績

(2005年4月30日～2010年1月31日の運用実績)



	マン・APエンハンスド・シリーズ2リミテッド債	世界株式	世界債券
総合収益率	1.0 %	-0.5 %	24.3 %
年率複利収益率	0.2 %	-0.1 %	4.7 %
年率標準偏差	12.3 %	16.2 %	3.1 %
最大下落率	-24.9 %	-51.9 %	-2.3 %
シャープレシオ	N/A	N/A	0.37
APエンハンスドとの相関関係	1.00	0.39	0.03

■ご注意ください

上記のグラフ・データは本資料作成時点における最新データを使用していますが、将来の運用成果を示唆或いは保証するものではありません。

シャープレシオは当該期間における該当通貨のリスクフリー・レートの平均値に基づき算出しております。



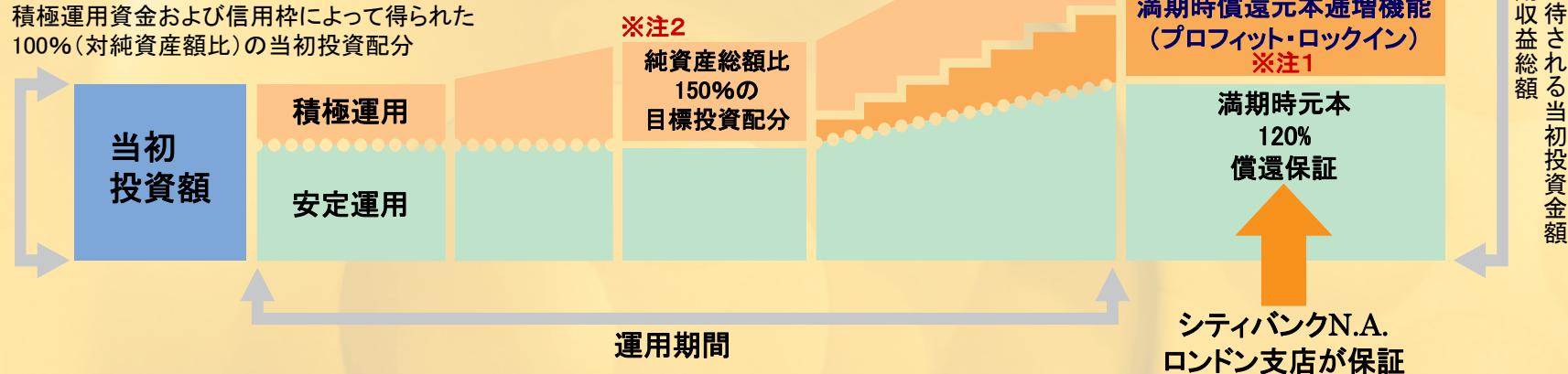
●ヘッジファンド連動債 2/8

2. 償還イメージ

イーバンク・ヘッジファンドe501には、満期時に投資元本の120%が保証されているヘッジファンドのパフォーマンス連動債券「マン・APエンハンスド・シリーズ2リミテッド債」を主として組み入れています。

高位に組み入れる
ヘッジファンド連動債券の償還イメージ

積極運用資金および信用枠によって得られた
100%(対純資産総額比)の当初投資配分



※当ドル建て債券の元本は120%保証されておりますが、当ファンドの元本が保証されているわけではありません。

※組入れ債券の元本確保は、債券の償還日まで継続投資した場合にのみ適用されます。

償還日前に売却された場合の債券価格は、当初元本を下回ることがあります。

※上図は償還イメージであり、必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

※注1 利益の一部を追加でゼロ・クーポン債に投資することにより、償還時の米ドルベースの償還保証額を増加させることができます。

※注2 積極運用部分は、資金調達によるレバレッジを通じ対純資産総額比150%を上限とする投資配分目標とします。



●ヘッジファンド連動債 3/8

3. 運用会社・保証銀行

マンAPエンハンスト・シリーズ2・リミテッド債の運用会社と償還時元本120%確保の保証銀行です。

■ヘッジファンド連動債の運用会社

■ Man Investments (マン・インベストメンツ)

- 世界最大級の独立系ヘッジファンド・グループで、運用資産総額は2009年6月30日現在で約433億米ドル
- 1983年に設立
- 累計約450のオルタナティブ投資商品を提供
- ストラクチャード・プロダクト／元本確保型プロダクトのパイオニア
- 1,600名超の従業員と1,800超の販売提携先

(参考) Man Group (マン・グループ)

- 創業は1783年
- ロンドン証券取引所に上場^{※1}。FTSE100の構成銘柄 (時価総額は2010年2月28日現在で3,846百万英ポンド)

■償還時元本確保の保証銀行

■ Citibank, N.A. (シティバンクN.A.)

- 1998年10月のシティコープとトラベラーズ・グループの合併により誕生した世界最大級の金融機関であるシティグループの一員
- 2010年2月末現在、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社、およびムーディーズ社の長期信用格付けが、それぞれA+格、A2格

※1 マン・グループplc(Man Group plc)は、「特殊及びその他金融」のセクターとして上場しており、多くの場合「その他金融」欄の中で掲載されています。



●ヘッジファンド連動債 4/8

4. 主なヘッジファンド運用スタイル 1/4

■主なヘッジファンド運用スタイル(マネージド・フューチャーズ ①)

■ マネージド・フューチャーズ・スタイル

- 当スタイルを採用するマネジャーの中では、株価指数、債券、通貨、商品などの各市場において、コンピューターを駆使した高度な取引システムを利用し、様々な時間軸でトレンドを見出し追従することで収益機会を捉える、トレンド・フォロアーと呼ばれるマネジャーが代表的です。また、その他にも、流動性が極めて高い先物市場において短期的な収益機会を追求する短期売買システム運用や、トレンド反転型、コントラリアン(逆バリ)型、平均回帰型などの各種運用戦略を採用するマネジャーがいます。投資の意思決定は、ファンダメンタルズ分析や自己裁量判断を基準に行うマネジャーもいるものの、通常はテクニカル(価格に基づいた)分析に基づいたシステム運用を採用します。

当ファンドが主として組み入れる、マンAPエンハンスド・シリーズ2・リミテッド発行の米ドル建て債券では、AHLダイバーシファイド・プログラムへの運用配分を予定しています。当プログラムは、上記のトレンド・フォロアーと呼ばれるマネジャーであり、約27の取引所において、100超にのぼる非常に流動性の高い世界の先物および外国為替の銘柄を24時間売買します。1983年以来、開発・改良が加えられてきた当プログラムは、コンピューターによる売買プログラムを利用し、リアルタイムの価格データから検知した市場の非効率性を収益機会とします。主なセクター別投資対象は、株式、債券、通貨、短期金利、エネルギー、金属、農産物などです。

当プログラムは、広範囲におよぶ銘柄に投資することによりリスクの分散を図り、伝統的な株式・債券投資に対し分散効果をもたらします。



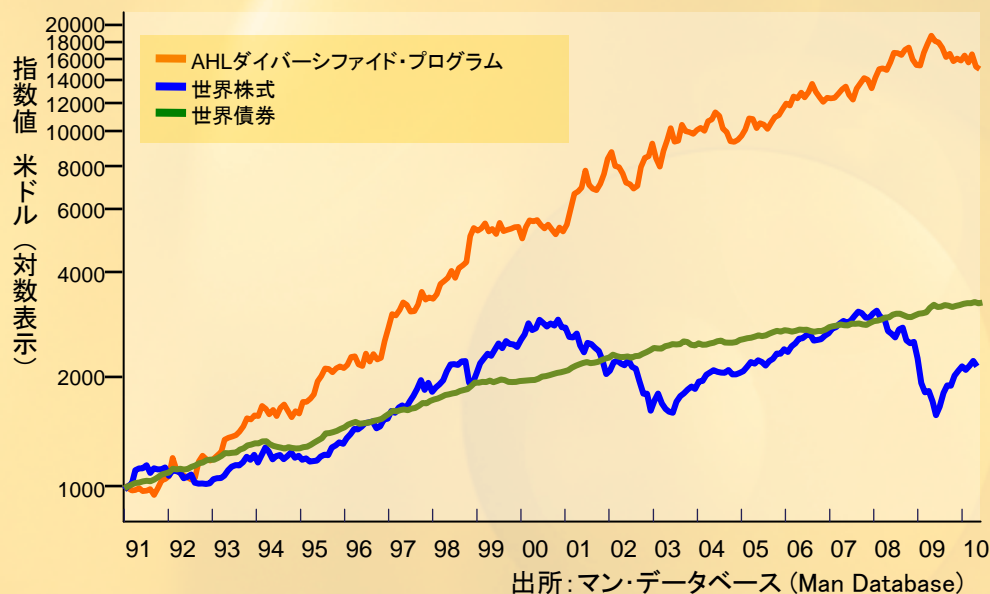
●ヘッジファンド連動債 5/8

4. 主なヘッジファンド運用スタイル 2/4

■主なヘッジファンド運用スタイル(マネージド・フューチャーズ ②)

■ AHLダイバーシファイド・プログラム運用実績

1990年12月20日～2010年1月31日



	AHLダイバーシファイド・プログラム	世界株式	世界債券
総合収益率	1394.6 %	137.0 %	268.6 %
年率複利収益率	15.2 %	4.6 %	7.0 %
年率標準偏差	16.3 %	14.2 %	3.1 %
シャープレシオ	0.70	0.10	0.91
相関関係	1.00	-0.15	0.43

■ご注意ください

出所: マン・データベースおよびブルームバーク(Bloomberg)。

上記のグラフ・データは本資料作成時点における最新データを使用していますが、将来の運用成果を示唆或いは保証するものではありません。

シャープ・レシオは当該期間における該当通貨のリスクフリー・レート
の平均値に基づき算出しております。

●ヘッジファンド連動債 6/8

4. 主なヘッジファンド運用スタイル 3/4

■主なヘッジファンド運用スタイル(その他 1/2)

■ レラティブ・バリュー・スタイル

- レラティブ・バリュー・スタイルは、通常、同一市場内および異なる市場間において関連性のある証券の価格の歪みを利用する投資戦略で構成されます。当該スタイルは、割安な資産を買い建てる一方で割高な資産を売り建てることにより、当該資産間の価格の関係の変動に起因する収益獲得の機会を追求します。当該スタイルのパフォーマンスは、一般的に、取引が行われる市場に対し、比較的低い相関性およびベータを示すことが想定されます。この種のスタイルの目的は、いかなる市場環境においても相対的にボラティリティーを低めに抑えつつ、一貫したリターンを実現することです。

■ エクイティ・ヘッジ・スタイル

- エクイティ・ヘッジ・スタイルは、ヘッジ・ファンド業界の最大のスタイル・セグメントにあたります。各種株式およびセクターのパフォーマンスの相違により、世界中の先進市場および新興市場における様々な収益機会が提供されます。エクイティ・ヘッジのマネジャーは、主に、それぞれ割安および割高とみなす公開取引株式においてロングおよびショート・ポジションをとることにより利益の獲得を追求します。戦略は、成長株もしくは割安株、特定の地域または産業セクターを重視したものとなる場合があります。マネジャーは、市場リスクに対する自己のエクスポージャーを軽減するか、または一貫したもしくは変動するネット・ロング／ショート・エクスポージャーを採用することができます。エクイティ・ヘッジ・ファンドは、一般的に、分散化されたグローバル・エクイティ・ポートフォリオの長期的リターンに匹敵するプラスのパフォーマンスを達成するよう目指しますが、相応に低いリスク水準を追求します。



●ヘッジファンド連動債 7/8

4. 主なヘッジファンド運用スタイル 4/4

■主なヘッジファンド運用スタイル(その他 2/2)

■ グローバル・マクロ・スタイル

- グローバル・マクロ・スタイルは、地域的および国家的レベルの両方における政治または経済情勢の変化の結果、各国に生じる価格の非効率性を発見するために、マクロ経済や金融状況に関する「トップ・ダウン」分析を採用する投資戦略で構成されます。当該スタイルは、体系的バイアス、裁量的バイアスの両方を用いたマクロ取引手法に重点を置いています。グローバル・マクロ・スタイルのマネジャーは、先進国市場、新興市場の両方に取引の機会を見出します。当該スタイルは、各国またはグループ別の国々における証券、金利、コモディティおよび通貨に対する著しいネット・ロング／ショート・エクスポージャーを伴うことがあります。当該スタイルは、通常、従来の資産クラスや、他のヘッジ・ファンド手法から独立したリターンを生み出します。

■ イベント・ドリブン・スタイル

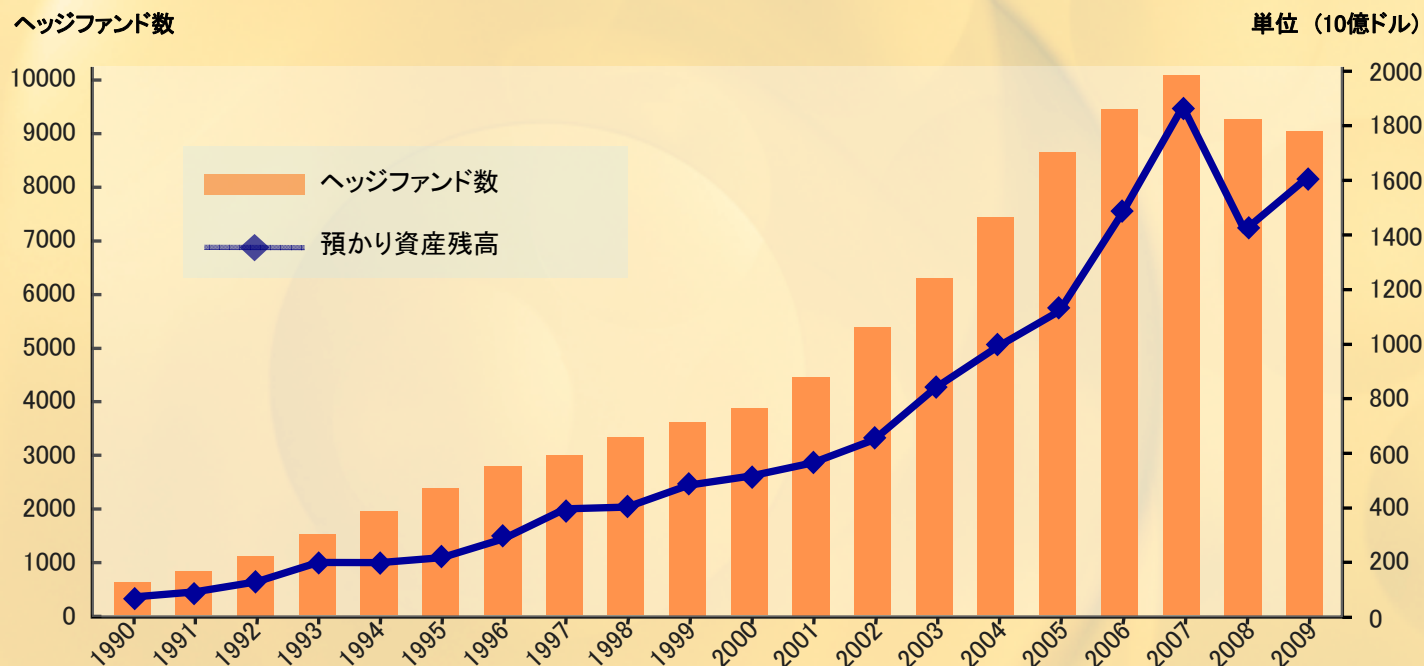
- イベント・ドリブン・スタイルは、通常、スピン・オフ、合併・企業買収、破産再生、資本再構成および自社株買い等の大きな取引イベントにより創出される機会を利用する投資戦略で構成されます。イベント・ドリブン・マネジャーの当該投資スタイルは、アクティビスト・ドリブン戦略に加え、スペシャル・シチュエーションズ戦略およびディストレスト証券戦略で構成されます。投資対象には、債券およびオプションのほか、普通株のロング／ショートおよび優先株のロング／ショートが含まれます。イベント・ドリブンスタイルの目的は、広範な市場の全体的な方向性に左右されることなく、正のリターンを生み出すことにあります。



●ヘッジファンド連動債 8/8

ヘッジファンドについて

- ヘッジファンドは、株式や債券市場の値動きに対する相対的な収益を目標とするのではなく、投資元本に対して安定的な収益の獲得を追求します。
- 従来は世界の個人富裕層が主要顧客層でしたが、近年は年金基金、銀行、保険会社など機関投資家が主な顧客層になりつつあり、プロ主体の市場へと変容しています。



出所: HFRI 社 (Hedge Fund Research, Inc.)。2009年12月31日現在。



●ご購入について

●購入単位・価格:

募集期間の単位は、10万円以上1万円単位とします。

●購入の申込み日:

原則として、毎週金曜日を締切日として購入の申込みができます。
金曜日がファンドの休日の週はその前営業日が締切日です。

●購入の申込み時間:

受付時間は平日の午後3時までです。午後3時を過ぎて、および休日にご注文いただいた分は翌営業日扱いになります。

●購入の約定日:

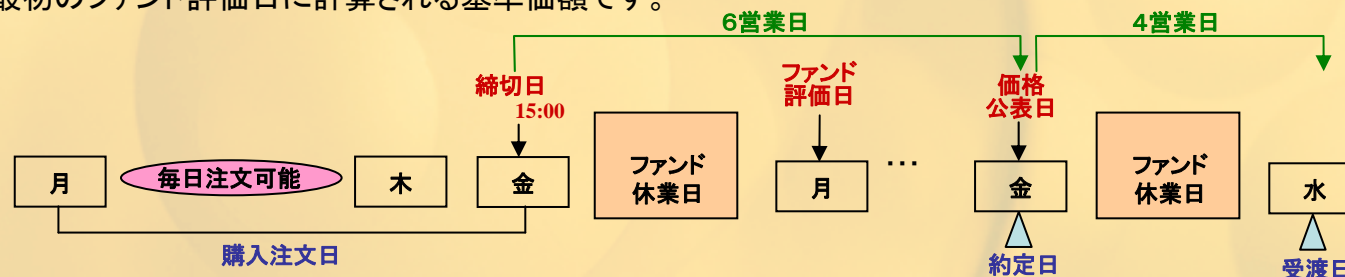
原則申込締切日から6営業日目です。但し、ファンドの休日などで翌営業日以降になることがあります。

●購入の受渡日:

受渡日に受益証券が保護預りになりますが、原則として約定日から起算して4営業日目に行われます。

●購入価格:

購入注文後、最初のファンド評価日に計算される基準価額です。



●各月の最初のファンド営業日、決算日、中間決算日が、各週の最初のファンド営業日と同一日になる場合は、その前週末では締切日を設けず、次週末のファンド営業日が締め切りとなります。

●上の図では曜日を表記していますが、日本と香港の休日(ファンド休業日)によっては、曜日は一致しません。

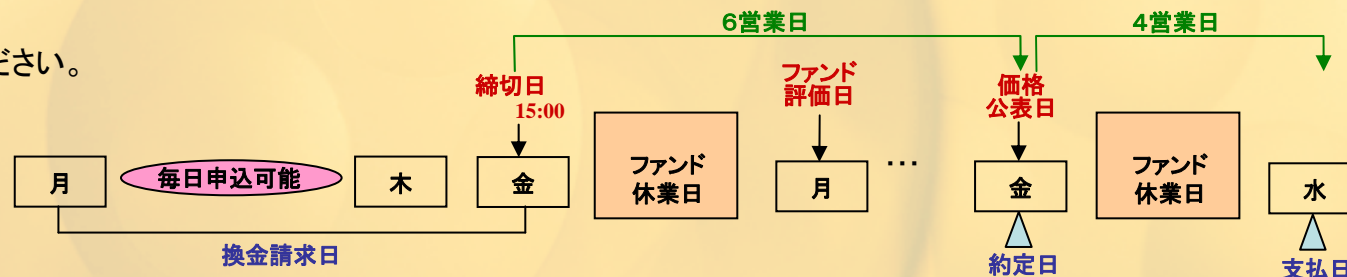
●注文の入力は毎日可能ですが、締切日の午後3時までは注文取消が可能です。
締切日の午後3時を過ぎますと注文取消ができませんので、ご注意ください。

●購入の際には、注文を受け付けた時点で約定予定代金相当額(手数料等含む)を、お客様の普通預金口座から当行別段預金に移行してお預かりさせていただきます。



●ご換金について 1/2

- クローズド(換金ができない)期間:
ありません。
- 換金(買取り)単位:
換金(買取り)の単位は、5万口以上1万口単位とします。
- 換金(買取り)の申込み日:
原則として、毎週金曜日を締切日として換金(買取り)の申込みができます。
金曜日が日本の休日の週はその前営業日が締切日です。
- 換金(買取り)の申込み時間:
受付時間は平日の午後3時までです。午後3時を過ぎて、及び休日にご注文いただいた分は翌営業日扱いになります。
- 換金(買取り)の約定日:
原則申込締切日から6営業日目です。但し、ファンドの休日などにより、翌営業日以降になることがあります。
- 換金(買取り)の受渡日:
買取り代金のお支払いは、原則として約定日から起算して4営業日目に行われます。
- 換金(買取り)価格:
次のページをご覧ください。



- 各月の最初のファンド営業日、決算日、中間決算日が、各週の最初のファンド営業日と同一日になる場合は、その前週末では締切日を設けず、次週末のファンド営業日が締め切りとなります。
- 上の図では曜日を表記していますが、日本と香港の休日(ファンド休業日)によっては、曜日は一致しません。
- 申込の入力は毎日可能ですが、締切日の午後3時までは申込取消が可能です。締切日の午後3時を過ぎますと申込取消ができませんので、ご注意ください。
- 換金請求は、約定日翌日以降に受付いたします。締切日から約定日までの間は約定中となるため換金請求ができません。



●販売会社、管理会社、その他関係法人の概要

■ イーバンク銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号

eBANK Corporation.

加入協会: 日本証券業協会、金融先物取引業協会
(代行協会員・販売会社)

■ イーバンク・キャピタル・マネジメント(ケイマン)リミテッド

eBANK Capital Management (Cayman) Ltd.

(管理会社)

■ 楽天投信投資顧問株式会社

Rakuten Investment Management, Inc.

(投資運用会社)

■ バンク・オブ・バミューダ(ケイマン)リミテッド

Bank of Bermuda (Cayman) Ltd.

(受託会社・保管受託銀行・登録事務代行会社・名義書換会社)

■ HSBC インスティテューショナル・トラスト・サービスズ(アジア)リミテッド

HSBC Institutional Trust Services (Asia) Ltd.

(管理事務代行会社・登録名義書換代行会社)



●お申込メモ

ファンドの形態	ケイマン籍オープン・エンド型契約外国投資信託(円建て)
税務上の分類	公募外国公社債投資信託
投資目的	中期的にみて、ボラティリティのレベルを抑え、株式または債券の市場価格の変動の影響を受けにくい実質的な元本の成長を提供します。
発行価額の総額	100億円を上限とします。
ファンド設定日	2005年12月7日
信託期間	2005年12月7日から2018年5月15日まで
お申込単位	10万円以上1万円単位
継続募集の取得申込価格	各取引後の最初のファンドの評価日に計算される基準価額
分配方針	収益の分配は行いません。
ご換金単位	5万口以上1万口単位
ファンドの営業日	土曜日、日曜日以外の日で、東京、香港の銀行および外国為替市場の営業日を言います。
ファンドの計算期間	最初の決算日は2006年11月末日です。 第2会計年度以降の決算日は毎年3月末日です。

※お客さまにご負担いただく手数料等	申込手数料	お申込金額の2.1%(税込)を上限に、販売会社が定める率を乗じて得た金額
	買取手数料	2009年4月1日以降2011年3月31日まで : 純資産価格の1.5%
		2011年4月1日以降 : 純資産価格の0.5%
	管理報酬等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理報酬: 純資産総額に対し年率0.2% ・受託会社報酬: 純資産総額に対し年率0.12% (ただし、月額最低3,500米ドル)および年額5,000米ドル ・管理事務代行会社報酬: 年額5,000米ドル ・投資運用報酬: 総資産総額に対し年率0.1% ・代行協会員報酬: 純資産総額に対し年率0.05% ・販売会社報酬: 純資産総額に対し年率0.45%
その他費用	<ul style="list-style-type: none"> ●投資先の債券の報酬および費用 ※上限額については運用状況等により変動する為表記できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・運用報酬: 年率約3% ・月額成功報酬: 各投資戦略による価値の純増加額の20%以下 ・その他、リスク移転管理費用: 年率約1% ・流動性・財務管理費用: 年率約0.357% ・保証報酬・保証手数料: 発行時0.2%、以降年間0.2% ●投資先ファンドの管理報酬等 ※債券のパフォーマンスが連動するファンド・オブ・ヘッジファンドが投資するファンドでも、管理報酬、信託報酬等の手数料等が発生します。 ●その他の費用(実費) <ul style="list-style-type: none"> ・設立費および募集費用 ・運営費用 	



●投資信託に関する留意点

- 投資信託は預金等とは異なり、預金保険の対象ではありません。
また、銀行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は預金等とは異なり、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
また、過去の運用実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、その運用実績は、その信託財産に組み入れられた株式・債券などの価格変動、その発行者(あるいは保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部機関の評価の変化その他の信用状況の変化等、金利・為替相場の変動など市場環境の変化などにより変動します。
- 外貨建ての投資信託、または円建ての投資信託でも外国の株式や公社債などを組入れ有価証券などとして投資を行う場合、為替変動の影響を受け投資元本を割り込むことがあります。
- 運用による損益は、すべて投資信託をご購入のお客さまに帰属いたします。
- 投資信託をご購入の際は必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をよくご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。



●本資料に関してご留意頂きたい事項

1. 受益証券の価格は、ファンドに組み入れられる有価証券等の値動きや発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化のほか、為替相場の変動等による影響を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。したがって、ファンドは元本が保証されているものではありません。
2. ファンドは預金ではなく、預金保険の適用対象ではありません。また、ファンドは投資者保護基金の支払い対象ではありません。その他、ファンドおよびファンドに組み入れられる証券などのリスクの詳細等については、投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。
3. この資料は、イーバンク銀行が投資信託説明書(目論見書)の補足を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。ファンドの受益証券の取得・換金にあたっては、当行ホームページ上に表示する投資信託説明書(目論見書)の内容を必ず確認し、ご自身でご判断のうえお申し込みください。
4. この資料に掲載されている情報等は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得しておりますが、その正確性、完全性および公平性を保証するものではありません。また、情報等は作成日時点において入手可能なものであり、将来予告なく変更または修正されることがあります。

お申込みの際には、必ず投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

